

2019年9月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 9月えんだより

9月聖句 「沖に漕ぎ出して網をおろし、漁をなさい」

＜ルカによる福音書 第5章4節＞

今年も暑い夏でした。高温で外に出られない日があることなど、幼い頃には、想像もしていなかったのではないのでしょうか。気候の変動の問題は、人間の生きる課題であることを実感いたします。暦の上では秋になりますが、子ども達が元気に毎日外に出かけられる日が待ち遠しいです。

さて、今月の聖句は、沖に出て漁をするペトロという漁師に語られた言葉です。今でこそ、海の中の魚群を見つける装置もありますが、当時は、その日その日で魚が取れるかどうか分からない不安な日々を送っています。夜通し漁をして全く獲れなかったペトロに向かって「もう一度、沖に出て漁をなさい」というのです。恐らくペトロは、人から指示されて流儀を変えることに嫌な思いをしたに違いありません。ましてや漁をしたこともない者から言われたら、私ならば相手にしないかもしれません。ペトロは嘆いたものの「ならばやってみましょう。」と沖に出ると網が裂けるほどの大漁になったというのです。

子ども達は、お友達の話や先生の話、大人が話をしますと目を輝かせて聴き、仲間がしていることを心躍らせながらやってみたりもします。相互に刺激を受け、嫌な思いをしても、直に人を赦しあう心を携えながら成長していきます。子どもの声や遊びに耳を傾け、自分の価値観を横に置いて、子どもと一緒に遊んでみると、思いがけない安らぎや喜びだけでなく、「ああ、そうか」と気づかされた経験もあるのではないのでしょうか？そう考えて見ますと、我々大人が思う子どもの心と、真の子どもの心とは違うのかもしれませんが。大人の今までの知識と経験でものを言う傲慢さを捨てて、謙虚にならなければならぬことにも気づかされます。

ペトロが岸に戻るとイエスに言われました。「今度は人を捕る漁師になりなさい」と、これは、一人ひとりを大切に神の国へと導かれることを示されました。一人ひとりを大切にすることは、何でも言うことを聴くということではなく、こうした小さな声に心を向ける姿勢を忘れないことであることを示しています。子どもの未知の世界を広げることはこうした姿勢が重要になるのでしょう。

年主題 『ことばに満たされて～ひびきあう～』

9月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	あそぼう	いっしょに
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> *生活の場を広げ、いろいろな遊びを試してみる *保育者や友だちと共に、体を動かす喜びを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> *平和を考え、願い、共に祈る。 *友だちと共にいることを喜び、体を十分動かして遊ぶことを喜ぶ。 *新しい発想や意欲をもって、試してみる。
讃美歌	ちから	ちから 幼児讃美歌Ⅱ 15